



動物園からの手紙



426通目

白い季節、壁に耳あり…



11／4より1週間の閉園期間をいただき、急ピッチで進めた開園準備作業も無事に終え、11／11から冬期開園が始まりました。休園期間にやってきたチンパンジーの「ユズ」とオランウータンの「ドーネ」もすっかり旭山の環境に慣れて元気にはしています。

そして、冬と言えばホッキョクグマです。オスの「ホクト」とメスの「ピリカ」は春に交尾が確認されています。旭山動物園では繁殖の可能性がある場合、11月初旬に出産準備のためメスを寝室に隔離します。寝室の檻には板を張って目張りをして、ほぼ真っ暗状態。飲み水はありますがエサは与えず絶食となります。野生下では雪の洞穴で出産をするため、暗くて静かな環境を再現しているのです。なので、この期間はメスを落ち着かせるため飼育担当者でさえ寝室側には入りません。寝室内の様子は複数の監視カメラで確認し24時間ハードディスクに記録します。今はカメラシステムも進化し高性能で、とても便利になりました。

1974年、国内で初めてホッキョクグマの繁殖に成



令和の監視カメラ

功した旭山動物園。その時代、寝室に人が出入りしないことは今と同じですが、カメラなどが無いあの頃はどうのように出産を確認していたのか？その方法は、壁に耳をピタッとつけて室内の音を聞くという、実にアナログな確認方法だったと先輩から聞いていました。私が担当していた1990年代後半は、ビデオデッキは普及していましたが録画時間は最長8時間で、夜中に一度テープ交換に来ていたことを覚えています。昔ながらの壁に耳をつけて確認することも継続して行い、赤ちゃんは「ギャーギャー」と激しい声で鳴くので産まれたことは確認できますが、これを「元気だね」とみるか「母乳が飲めずお腹を空かして鳴いている」とみるか、また逆に静かだと「満腹で寝ているのか？」、「死んでしまったのか？」と判断がとても難しいものでした。

4年前の2021年「ゆめ」が産まれた時は出産の決定的瞬間が撮れていきました。さて今回は？この手紙が届く頃、皆さんに良い報告ができますように…「がんばれ、ピリカ！」



ピリカの寝室

Pick Up!

自然観察会 開催中



飼育員と身近な自然を観察する申込制イベント。月1回程度で開催しています。

随時、HP・SNSで開催のご案内をしていますので、興味のある方はぜひチェックしてください。

旭山ピックアップ

Asahiyama Zoo pickup

第26回動物読書感想文コンクール

作品募集

動物に関する本を読んで感じたことを表現した、感想文を募集します。
詳しくはHPから



第31回旭山動物園ふれあいフォトコンテスト

作品募集

動物の生き生きとした姿や表情の写真を募集します。



詳しくはHPから

動物園をもっと楽しむ／

動物園では他にもイベントいろいろ！園内イベントの詳細は決まり次第、同園HPに掲載
【詳細】旭山動物園（東旭川町倉沼 国36・1104）



冬期
開園日
・時間

● 4／7(火)まで10：30～15：30
(入園は15：00まで)
※12／30(火)～来年1／1(木)は休園。